

町勢
世帯数/1,102世帯
人口/3,212人
(平成26年11月1日現在)

こうふ町 議会だより

町の木

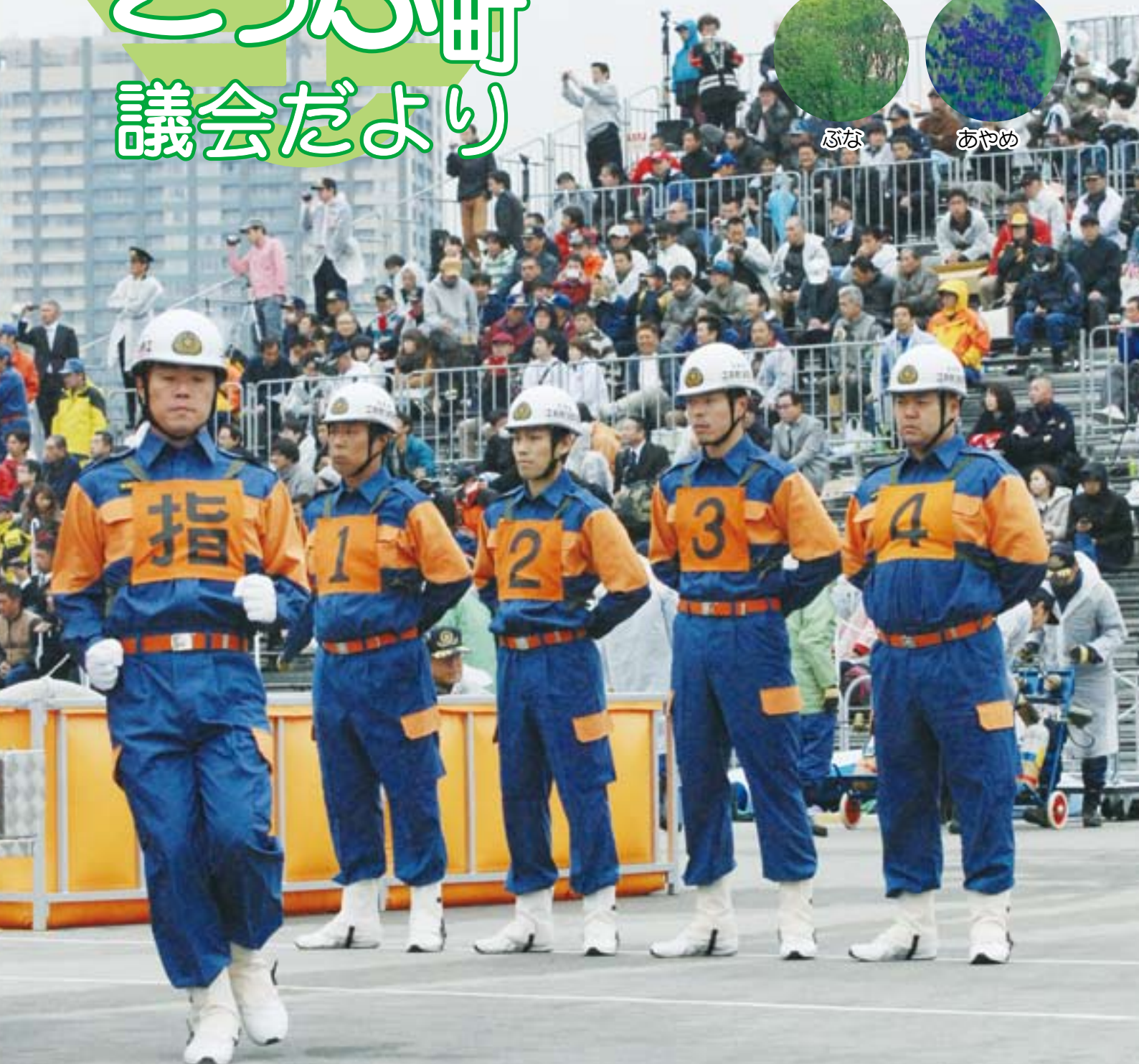


ぶな

町の花



あやめ



前回優勝に続き
みごと準優勝!!

第24回全国消防操法大会

| | |
|--------------|-----|
| 25年度決算を認定 | 2P |
| 決算特別委員会参考意見 | 7P |
| いっぱん質問 町政を問う | 10P |
| 私のひと言 | 14P |

平成25年度 決算

歳出総額

64億5577万円認定

一般会計

47億2,724万円

特別会計

17億2,853万円

基金が増加し、14億7千万円
着実に健全化が進む

平成26年度9月定例会は9日招集され、会期を22日までの14日間として開かれた。

今回の定例会は平成25年度一般会計と15の特別会計の決算を審議した。町長からの提出議案38件は慎重審議し、すべて可決した。

江尾診療所の内視鏡約1700万円の購入や赤字となっている農業公社への貸付条例、その為の1千万円の基金条例が議決された。

最終日に追加提出議案として任期満了に伴う教育委員の任命が提出され引き続き、富田美智子さんが教育委員に任命された。

一般会計

平成25年度の一般会計は、前年と比較し13億6千万円の増となった。

この主なものは、中学校建設に10億3千万円、プール移転に1億6千万円、7月の豪雨災害復旧に1億4千万円。

多くの事業を行ったが、有利な起債や補助を使い、2億3千万円の積立金を行った。

費目別内訳 (主なもの)

1. 公債費 (12%) 5億7648万円
2. 総務費 (13%) 6億1929万円
3. 民生費 (13%) 6億0103万円
4. 衛生費 (5%) 2億5722万円
5. 農林水産業費 (8%) 3億5369万円
6. 土木費 (7%) 3億0534万円
7. 教育費 (30%) 14億0543万円
8. 消防費 (2%) 8785万円
9. 災害復旧費 (3%) 1億4187万円

特別会計

平成25年度の15特別会計歳出総額は、約3千600万円増加した。又、一般会計から前年と同程度の3億6千万円繰り入れを行っている。

1. 国民健康保険(事業勘定) 3億4224万円
2. 国民健康保険(施設勘定) 2億2688万円
3. 介護保険(保険事業勘定) 5億4478万円
4. 簡易水道事業 1億6092万円
5. 農業集落排水事業 1億9258万円
6. 公共下水道事業 7286万円
7. 索道事業 7230万円

監査委員の審査意見



カサラファーム

平成25年度江府町決算
監査に伴う行財政の実態
と問題点を総括します。
平成25年度予算執行に
当たつての財政状況の厳
しいなか、中学校校舎等
建設事業、平成25年7月
15日豪雨災害復旧事業等
があり、歳入、歳出とも
平成17年度に続き、60億
円を超える予算となつた。
財政状況は、ほぼ平成

25年度財政見通しのとおり
推移しており努力を認
めるが、町有財産を見る
と、旧江府中学校の給食
センター建設予定以外の
跡地、社会福祉協議会町
中移転後の老人福祉セン
ター、市民農園管理棟等
の活用がまだ決定されて
いない。

遊休施設が増えるほど
施設管理費も必要となり、
将来負担を少なくするた
めにも施設の有効活用、
統合、売却を真剣に考え
る必要があると思う。

今後の行財政について
は、少子高齢化が一層進
むなか、町税、地方交付
税の減少、扶助費の増加
が見込まれ、今後も厳し
い財政状況は変わらない。
施策の重要性、有効性、
経済性等を踏まえ、中・
長期的な計画を樹立され、
各種課題を着実に推進す
るため、町民、地域、行
政が一体となり、安心・
安全な将来展望の持てる
町づくりを推進してい
きたい。



旧中学校解体工事

留意事項

- (1) 農業公社運営の見直しを検討されたい。
- (2) 公共施設建設は計画

- (3) 財産管理方法を検討されたい。
- (4) 今後の医療、福祉連携を早急に構築されたい。

決算の審査

一般会計

で乗客数の減少について検討したい。

ふるさと納税の認知度は

Q ふるさと納税の認知度が向上し増えているが。

A メディアでも取り上げられた事も要因で、平成25年度は昨年度より382件増えて587件、金額は804万円となった。今後お礼の商品も工夫してPRを行いたい。

町営バスの利用度は

Q 町営バス7路線の乗客数が減少している様だが。

A 昨年度より乗車延べ人数が5,622人減少した。子供の減少も要因。平成25年度は小中学校児童生徒数が200人を切った。過疎バス在り方委員会

ごみの排出量は

Q 可燃ごみの量は。

A くぬぎの森の焼却炉が改修され、平成24年度と比べて可動日数が減ったため約19トン減少し、593トンとなった。

コミュニティ助成事業は

Q 本年度実施した宝くじコミュニティ助成事業の集落は。

A 新道と下安井の2集落。新道は発電機・除雪機・外灯照明等160万円、下安井は発電機・防災ライト・電光ドラム・集会所設備等240万円の整備を行った。

奥大山水工場の経営状況は

Q 水場モデルシユリンクラブ(自

耕作放棄地の調査結果は

Q 農業委員会が実施した町内の耕作放棄地の実態調査結果は。

A 平成24年度は田を中心に平成25年度は畑を中心に調査。本年度の遊休農地面積は128ヘクタールであった。

地籍調査の進捗状況は

Q 本町の地籍調査の実施状況は。

A 平成25年度は荒田が0.7haと下安井0.3ha実施。平成26年度は下安井の残り、小原、御機の予定です。

堆肥センターの状況は

Q 堆肥の販売実績は。

A 前年より減って206tとなった。

Q 品質については。

A 堆肥成分分析をおこない、発酵、大腸菌等の検査を経て、品質には問題ないとの結果を得た。

動装着機)設置後の状況は。

A 今まで手作業で行っていたラベルを自動装着する事により、安全性を高め、人的省力化を行い、併せて品質管理も向上した。

町税の徴収状況は

Q 町税の滞納者の固定化が進んでいるが。

A 定期的に徴収を行い納付をうながしている。

鳥獣被害防止は

Q イノシシ等による被害が増えているが対応は。

A 鳥獣被害予防事業について周知を行い侵入防止柵(ワイヤーメッシュ)の推進を積極的に進めた。25年度3ヶ所設置。



下安井コミュニティ助成事業

あなたも議会を
傍聴してみませんか
詳しくは議会事務局へ
電話番号7513307



保育園運動会

有害鳥獣対策は

Q 有害鳥獣駆除対策の人数と人員確保は。

A 江府町有害鳥獣駆除連絡協議会でなんと鉄砲の有資格者19名、日野郡鳥獣被害対策協議会に1名資格者がいるが、高齢化が進んでおり今後の人員確保に努めたい。

奥大山農業公社の運営は

Q 平成25年度より従来の農業公社を解散して新設された農業公社の運営状況は。

A 経営的には厳しい状況だが、耕作者が高齢化した農地を守る為にも、安定した経営が出来る様努力したい。



しあわせのまちづくり事業 宮市とんかち屋さんの御幸場整備

小学校の空調は

Q 江府小学校の教室の冷暖房状況は。

A 全教室に空調が整備され、児童の快適な教育環境が整った。

しあわせのまちづくり事業補助金は

Q 本年度の事業の成果は。

A 本年度は11団体(1団体3万円限度)が取り組み、集落の特性や、コミュニティを生かした活動、地域の支えあいや健康づくりに助成した。

特別会計



住民健診

国民健康保険特別会計 (事業勘定)

Q 国民健康保険税の改定について。

A 平成29年度より保険税が県一本化になることからそれに向け本年度も増額改定をした。

Q 基金が1億円積み立ててあるが、県一本化の際の取扱はどうなるか。

A 明確ではない(利用できるかどうか)、現状では基金の保全を図る。

国民健康保険特別会計 (施設勘定)

Q 患者数が減少しているがどのような要因か。

A 内科・歯科とも従来より両医師が患者に対する自身の濃い診察に徹しているため。患者からも好評を得ている。

Q 平成25年度末の基金の残高はいくらか。

A 診療所事業財政調整基金は1億5,300万円。

介護保険事業特別会計(保険事業勘定)

Q 居宅介護サービス等の状況は。

A 要介護認定者数245名、内、居宅介護サービス受給者数114名、地域密着型サービス受給者数17名、施設介護サービス受給者数98名。(平成25年度末現在)

Q 介護の認定状況はどうなっているか。

A 認知の状況がリハビリ・要支援・要介護に移行しており、施設への利用度が高まったため、地域で支える介護体制の確立が必要と考えられる。

Q 介護予防(物忘れ外来↓認知症への流れを改善する)対策はどの様に。

A 平成27年度に介護保険料の改定があるため、しっかりと計画を策定し対応して行きたい。

簡易水道事業 特別会計

Q 西成地区の町水道への移行は。

A 地元理解を得られたので町水道へ移行する。



西成水道の配水地

一般会計決算特別委員会 参考意見

一般会計

江府町の平成25年度一般会計決算は51億3千万円であり前年対比14.3%となっている。

これは、中学校建設事業及び、町民プール移転事業、7月に町内を襲った豪雨災害復旧事業等の大型投資によるものであった。

一方、実質公債費比率は15.6%となり平成24年度と比較して14%の減少となり、財政健全化に努力されたことがうかがえる。

今後とも効率的な財政運営に傾注されたい。

企画政策課

- (1) 情報通信設備管理運営事業費の使用料、工事請負費が高いが、若干の値引き交渉をされたらどうか。
- (2) 中国電力の電線を地下埋設化し、景観を良くすることを検討されたい。

住民課

- (1) 窓口延長は余分なコストもかからずサービス向上につながるが、利用者も前年より増えている。引き続き対応をされたい。

(2) 町税の滞納者が依然として多く、固定化がみられる。徴収は大変だと思いが努力されたい。

総務課

- (1) 町報の紙面をカラー化してもっと見やすくしたらどうか。

(2) 西部町村における消防団員の出勤手当は江府町は低い。他町と同じ位にされるよう検討されたい。

- (3) 町議会議員選挙費執行額の比較は、投票所21カ所670万円、投票所減13カ所459万円、差引210万円選挙経費が減となった。

福祉保健課

- (1) 町の姿勢として地元での購買促進をアピール

- すべきではないか。
- (2) 視覚障害者支援を要望する。

農林課

- (1) 有害鳥獣駆除者の人数が減少傾向であり、駆除者の育成に努力されたい。

奥大山まちづくり推進課

- (1) 町営バス乗務員の駐車場使用料を町が負担しているが、必要かどうか検討されたい。
- (2) プレミアム付き地域振興券の継続と工夫を検討されたい。
- (3) ふるさと納税は平成25年度寄付件数587件、寄付金額804万2千円と前年度より大きく上回った。お礼の商品数も増えており、更なるPRを望む。
- (4) 境港に寄港するクルーズ船の乗客の観光誘致を促進されたい。
- (5) 観光シーズンに合わせて町営バスをエバーラ

ントまで運行することを検討されたい。

奥大山スキー場管理課

- (1) 市民農園施設管理事業は、平成25年3月末で指定管理が満了したが、農地については今後の使用について検討されたい。また、建物等修繕も必要であり、今後の活用を検討されたい。

教育振興課

- (1) 司書は不在にならないよう留意されたい。

- (2) 民俗資料館の予算を増額し資料の保存と公開をされたい。

社会教育課

- (1) 町制60周年記念「サントリー美術館コレクション展」は町民454人が入場。60周年記念事業の成果を喜びたい。

議会事務局

- (1) 監査委員の報酬について検討されたい。



奥大山うまいもん祭

特別会計

住宅新築資金等 貸付事業特別会計

(1) 滞納者の一部には町税の滞納もあり、本人の希望も考慮しながら積極的に納付を促して頂きたい。

国民健康保険特別 会計(事業助定)

(1) 保険税の滞納は平成



江尾診療所

介護保険事業特別 会計(保険事業助定)

(1) 今後増加が予想される認知症患者・独居老人世帯等の重複するような介護支援が要求される状況下において、地域包括

25年度118万8千円発生し、過年度繰越分892万4千円とあわせて1011万2千円の収入未済額が計上されているが、なお一層の収納率向上に努めて頂きたい。

索道事業特別会計

支援は地域で支える介護体制をいかに構築できるかにかかってくると思われるので、関係機関と協調を図り、サービスの低下を招かないよう検討して頂きたい。

(1) 平成25年度の業績は良好な結果であったが、今後想定される第1リフトの新設や圧雪車の更新等は多額の資金が必要となるので、事前に計画的な整備方針を策定いただきたい。

(2) スキーシーズンの集客の呼び込みは、いかに効果のあるPRを的確に発信できるかにかかっている。夏場のグレンデの活用も含めた総合的・多面的な方法を検討して頂きたい。



奥大山スキー場

老健施設「あやめ」の決算状況

施設開設から8年を経過した利用状況は、年間延べ入所利用者は24,698人あったが対前年で560人減少した。短期入所、通所リハビリも利用者が減少した。

収益：379,423千円
経費：389,709千円
決算額：△10,286千円

今後の見込み

収益については、利用者の確保、特に春から夏の利用者を増やす必要があるが「利用者」の質の高いサービスを提供できるかが最も重要である。

◎人材確保も最重要課題である。引き続き募集をおこなって行く。

平成25年度日野病院の決算について

◎日野病院決算概況

病院事業 高齢化率の高い中山間地域における中核病院として、CT・MRIなどを備え、常勤医師8名と大学からの非常勤医師で22診療科の診療に加え訪問診療も行なっている。

◎収益的収支

医療収益…………… 1,170,308千円
介護サービス収支…………… 57,758千円
医療外収支…………… 370,058千円
収支合計…………… 1,598,650千円

◎費用

医療費用…………… 1,520,019千円
医療外費用…………… 36,325千円
費用合計…………… 1,556,344千円
収益的収支…………… 42,306千円

※日野病院の決算状況は非常によいが、外来診察者数、入院者数の減少が予測され、その対応等しっかりと取り組まなければならない。

奥大山農業公社決算状況

今年度から、新しく一般法人として、新体制で出発したが、赤字経営となった。しかし、町の農地を守るために必要な公社であるので、今後対策が望まれる。

収入の部

- ①農作業受託事業収入…………… 18,126千円
②農業経営事業収入…………… 6,036千円
③農業経営合理化促進事業… 2,242千円
④公共施設等維持管理事業…………… 704千円
⑤その他事業…………… 7,853千円
⑥補助金等…………… 5,827千円

収入合計 40,788千円

支出の部

- ①農作業受託事業支出…………… 18,605千円
②農業経営事業支出…………… 9,876千円
③農業経営合理化促進事業費…………… 0千円
④公共施設等維持管理事業費… 450千円
⑤その他事業支出…………… 9,312千円
⑥管理費…………… 4,908千円

支出合計 43,151千円

事業収支差額 △2,363千円

事業外収支差額 △4,967千円

当期収支差額…………… △7,330千円



ゴミ収集作業（江府町江尾）

日野町江府町日南町衛生施設組合決算状況

平成25年度3町衛生施設組合決算状況

歳入総額……………495,570千円
歳出の部……………477,547千円
差し引き 18,023千円

各町負担金

(対前年比)

| | | |
|----------|----------|-------|
| 日野町…………… | 62,099千円 | 90.3% |
| 江府町…………… | 60,205千円 | 87.6% |
| 日南町…………… | 29,270千円 | 85.3% |

平成25年度は前年に対し歳入・歳出とも大幅な増額は、ゴミ焼却場・し尿処理場等施設の改修整備による。今後歳出削減に努力する必要がある。

一般質問

町政ここを問う

一般質問は3人の議員が行い、町長の方針をたどした

質問 昨年に続き江府町総合計画について考え方を伺う。80パーセントぐらいは達成出来たと言うことであった。今年ももっと達成率は上がっていると考える。現在の総合計画は平成27年度で終わることだが、計画について数値目標が明確でないため町民生活や福祉がどうなったか判りにくい。平成28年度以降の総合計画には数値目標を明確にすべきであると考ええる。町長の考えを問う。

| 問 | 答 |
|-------------|-----------------------------|
| 総合計画には数値目標を | 必要と考えているので可能な項目については考えていきたい |



三好 晋也

総合計画の数値目標は



道の駅完成予想図

町長答弁

平成23年5月より地方自治法が一部改正になり、法的には総合計画の策定に義務がなくなりましたが、私としては、本町の将来の指針となる総合計画は必要と考えている。今年の4月から副町長を中心にして職員と未来ビジョン策定プロジェクトを立

ちあげている。人口減対策、地方創世など新しい政策も動いているので変化もあるが、条例に従って議会に提案し、ご意見をいただきながら進めたい。すべての数値化は難しいが、可能なかぎり検討していく考えである。



未来ビジョン策定プロジェクト会議

ビデオによる住民への情報提供は



奥大山スキー場警戒気象観測情報システム設備



竹茂 幹根

| | |
|----------|---------------|
| 問 | ビデオによる情報提供は |
| 答 | 光ファイバーで全世帯に配信 |

質問 議会の情報あるいは町内の出来事を映像により提供するのが最も住民にわかりやすいと思われが、そういう情報をビデオにとり、防災情報

センター及び診療所の待合室等に設置して提供したらよいと思うが町長の見解を伺う。

町長答弁

町の情報をビデオで提供できないかということではありますが、それも一つの方法ではないかと思えます。ただビデオを撮る労力が大変であり、映

| | |
|----------|--------------------|
| 問 | 最高責任者としての責務は |
| 答 | 安全なスキー場と二度と災害を起さない |

像で情報を提供することが必要ということはお互いに理解していると思います。私も映像で一日も早くお伝えするということとは必要だと思えます。私としては一部の人だけでなく光ファイバーという大きな投資をしているので、これを使ったシステムを導入し全世帯に配信させる方法がよいと思っています。

質問

奥大山スキー場雪崩事故の判決と遺族の方々の補償も完済したことから最高責任者としての責務をどんな形でされるのか町長の見解を伺う。

町長答弁

スキー場雪崩事故について再々の質問をいただきました。経過については改めて申し上げます。順次事故発生時からきち

んとお伝えしています。ただ、受け取り方を竹茂議員は竹茂議員の受け取り方をされているというふうに思います。ただ人為災害とか努力が不足しているということは私は心外に思います。判決の中でも4割は自然災害、ただ十分な危険予知能力とか人材育成とか、そういうものは足らなかつたのではないかと御指摘は受けています。ですか

ら災害自体はあくまでも自然災害ということは共通の認識であります。私の管理責任といたしましては専門家の指摘に十分に対応し、安全なスキー場と二度と災害を起さないこと、これが私の最高責任者としての責務ではないかと思っております。又事故の状況、補償の状況は住民説明会を開催し住民の皆さんに説明をさせていただきます。



雪崩防護柵

職員の心の健康管理・危機管理体制は



三輪 英男

| | |
|----------|----------------|
| 問 | 現在の体制と対策は |
| 答 | 重要な問題と認識し今後も注視 |

質問 過度な業務、過度な責任分担による、精神的障害の疾病を余儀なくされる方が以前より増えている。メンタルヘルス対策に取り込むには、健康管理計画を策定するとか、具体的な対応が考えられるが、本町においてはどうな体制で対処されているか、町長並びに教育長に見解を伺う。

町長答弁 安全衛生委員会を設置し年間4回の委員会開催を通じ、心の健康対策に努めています。また事例

が発生した場合には本人・家族・医者を含めた対応で職場復帰までのサポートも行っています。役場職員が町民の期待に応える為には本人の健康が何より重要と考え、今後も怠りなく取り組んで行きたい。

教育長答弁

先ほど町長の答弁にあった安全衛生委員に中学校の代表が加わっており、役場と同様に各学校においても対策をとっています。特に学校教育は子供との人格的な触れ合いが重要であり、教職員の心の健康について十分留意していきたい。

| | |
|----------|----------|
| 問 | 原発事故の備えは |
| 答 | 今後の課題 |

質問 島根県は一昨年、中国電力島根原発の事故を想定した広域避難計画を発表した。その中で江府町は松江市の予備避難先で、2千人程度の受け入れ態勢と聞いているが町長の見解を伺う。

町長答弁

島根原発は鳥取県広域住民避難計画の中にも位置づけられ、江府町へも30キロ圏内の避難者が2千人想定されています。ただ、江府町自体も50キロ圏内であり住民避難も考える必要があります。住民輸送に備え子口ル観光、また神戸市の魚崎町と協定を結び準備をしています。今後、50キロ圏内の本町も県の指導を受け江府町避難計画を策定することとなります。



多面的機能支払制度取組「原団地」江尾地内

| | |
|----------|------------|
| 問 | 多面的機能支払制度は |
| 答 | 取り組みを指導 |

質問 従来の農地水保全管理支払い制度から今年度に模様替えをし、スタートした制度です。人口減少社会における農村の活性化として、国家プロジェクト的予算規模ですが町長の見解を伺う。

町長答弁

新たな制度は、中山間地域直接支払制度と合わせて取り組むことで大きなメリットがあり、説明を行い取り組みを促しています。昨年の7組織から17組織と増加していますが、今後も丁寧に説明していきたい。

が町長の見解を伺う。

第6回臨時会報告

7月29日臨時会が開催され、3件の議案が提出され、承認された。

◎江府町斜面崩壊復旧事業分担金徴収条例の制定。

◎一般会計補正予算（主なもの）

| | | |
|---------------|----|-------|
| 水源取水施設工事請負費 | 4, | 961万円 |
| 施設整備（旧三机分校） | 9 | 57万円 |
| 災害復旧（小江尾・下蚊屋） | 1, | 545万円 |
| 子どもの国保育園駐車場整備 | 3 | 87万円 |

◎固定資産評価審査委員の選任

江府町御机 岡 寿昭氏が再任。

江府町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

任期 平成26年8月30日～平成30年8月29日（4年間）

選挙管理委員

- 亀田 武志氏（大河原）
- 手島 容子氏（江尾）
- 田本 賢二氏（杉谷）
- 中尾 良樹氏（俣野）

江府町教育委員に 富田美智子氏再任



任期満了につき、富田美智子氏が再任。

江府町教育に、一層ご尽力願います。

陳情の審査結果

提出のあった陳情は、9月定例会で審査した結果、下記の通り決定した。

| 件名 | 提出者 | 審議結果 | 理由 |
|-------------------------------|----------------------------|------|---|
| 軽度外傷性損傷の周知及び労災認定基準の改正などを求める陳情 | 軽度外傷性脳損傷仲間の会 代表 藤本久美子 | 継続審査 | 医療機関をはじめ、国民、教育機関へ広く啓発・周知を図り、労災基準を改正し、軽度外傷性脳損傷について、勉強する必要があるため |
| 子ども・子育て支援新制度の実施に関する陳情書 | 鳥取の保育を考える会 会長 石井由加利 | 趣旨採択 | 平成27年4月から本格施行が予定されている。今後、国の審議が十分尽くされる事が必要であるため。 |
| 「特定秘密の保護に関する法律」の廃止を求める陳情 | 憲法改悪反対鳥取県共同センター 代表 田中 暁 | 継続審査 | 国会を通過しているが、適正な運用を図るための仕組み、法整備について注視する必要があるため。 |

ひとこと



江府町地域おこし協力隊
雨宮 達樹

江府町に来て

こんにちは。今年の4月に地域おこし協力隊として江府町に来ました雨宮 達樹(あまみや たつき)と申します。

江府町に来てから半年が経ちましたが、まだ私のことをご存じない方もいらっしゃると思うので、この場をお借りして少しだけ私の自己紹介をさせて頂きます。

生まれは東京都豊島区、育ちは神奈川県横浜市という都会っ子でいつか田舎に住んでみたいという気持ち小さい頃からありました。マイブームは「バスケ

のシュート練習」です。好きな食べ物「ペペロンチーノ」です。

現在協力隊として取り組んでいる活動は、移住定住対策で江府町の空き家について調べたり、江府小学校の「放課後子ども教室」で子供達とフットサルをして交流を行ったりしています。

また、協力隊とは別にボランティアで「奥大山ぶなの森クラブ」の活動のお手伝いをさせて頂いております。もともと江府町のことについて知りたかったので、こんな活動やイベントがあるよ等あれば是非とも教えてください。今後の活動としては教育面で町に貢献したく、江府町で家庭教師か個人指導塾をやりたいなど考えています。が、まだ江府町に引越してきたばかりで付近の学校のことや教育のことについてはまだまだ勉強中です。中学校で習う範囲の勉強しか教えることは出来ませんが、それでもよければ指導して欲しいという方がいたら是非ご相談ください！



江府町地域おこし協力隊
片岡 薫哉

半年間の活動を通して

東京都よりこの鳥取県江府町に地域おこし協力隊として着任をさせて頂いた片岡 薫哉(かたおか くにや)と申します。早いもので着任させて頂いてから半年もの時間がたちました。以前に比べて顔を覚えて頂いたなどという感触や、町内外の友人が増えてきたと思っています。

また、6月の町議会一般質問において私たち協力隊に関する質問が出るという事で傍聴に伺ったのが懐かしく思います。私は地域おこし協力隊の農業支援班というもので活動をさせて頂いています。宮市や宮市法人を中心とした活動をしてお

り、お米は5月の田植えから9月、10月の稲刈りまで見させて頂き、お米に対する思いや地域の方の思いを肌で感じる事ができました。そして、今は宮市で移住者の方と一緒に畑を始めました。誰も農業経験がない中、手探りで試行錯誤を繰り返しながら、基本的には手作業で草抜きをしたり、時には鍬で溝を掘ったり、時にはレーキを使い整地をする。そんな畑をしています。この畑については多くの失敗があったものの、いろいろな方のご支援や、協力力によって順調に続けられていると思っています。江府町の農業の為になる成果を残す、これが恩返しになるように頑張っています。最後に、こうした活動を通して東京では感じられなかった、農家としての視点に近い物を感じる事が少しできた気がします。畑に対する思いや、一つ一つの農作物に対する思い。この視点を大切にしながら活動を続けていきます。そして、これからもご指導のほどよろしくお願ひします。



▼9月27日、御嶽山の突然の噴火により、多くの方が犠牲になりました。心からご冥福をお祈りします。

昔から、信仰の山として慕われ「木曾の御嶽山」として謳われていました。まさかその山が噴火するとは。しかも秋晴れの土曜日の御昼時、大自然の無情に愕然とします。

▼地球温暖化のせいなのか、多くの自然災害が発生します。出来る限りの防災をし、最後は自分の命は自分で守るという意識と備えが大切だと感じます。

▼収穫が終わった秋の夜長、平穏な日々が続くことを祈ります。

上原

- 議会広報調査特別委員会
- 委員長 上原 二郎
- 副委員長 越峠恵美子
- 委員 川端 雄勇
- 委員 田中 幹啓
- 委員 川上 富夫